

愛媛県立中央病院

〒790-0024 愛媛県松山市春日町83番地
 [TEL] 089-947-1111 (代表) [FAX] 089-943-4136
<http://www.eph.pref.ehime.jp/epch>

応募連絡先

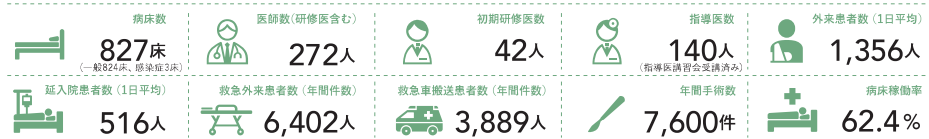
担当部署：総務医事課 職員係 担当者：兵頭 宏治
 ☒ c-kensyu@eph.pref.ehime.jp

自ら考え、動ける研修医を目指す！

「県民の安心の拠り所である病院」、「県民の最後の砦」として、愛媛県内医療の中心的な役割を担っています。

内科疾患に対する高度医療、小児救急も含めた小児医療、県内一の出産数を誇る周産期医療、早期から導入しているロボット手術、脳卒中、循環器系、外傷などドクターヘリを用いた3次医療、すべてにおいて症例数は中四国でトップクラスの病院です。

● 病院データ



【開設年】昭和23年6月

【開設者】愛媛県

【院長】中西 徳彦

【標榜科】総合診療科 / 消化器内科 / 腎臓内科 / 循環器内科
 呼吸器内科 / 血液内科 / 糖尿病・内分泌内科 / 脳神経内科
 感染症内科 / 呼吸器外科 / 消化器外科 / 小児外科
 乳腺・内分泌外科 / 小児科 / 新生児内科 / 泌尿器科
 麻酔科 / 救急科 / 精神科 / 眼科 / 耳鼻咽喉科 / 頭頸部外科
 皮膚科 / 形成外科 / 顎顔面外科 / 放射線科 / 心臓血管外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 産婦人科 / 漢方内科
 リハビリテーション科 / ベイシック内科 / 歯科 / 病理診断科



ヘリポート
毎年入職時にヘリポートで写真をとっています。



お祝い
研修終了のお祝いの風景。研修医にこれからの夢をホワイトボードに書いてもらいました。



【バス】伊予鉄道路線バス市坪・はなみずき線「県病院前」バス停下車すぐ
 都心循環東線「県立中央病院」バス停下車すぐ
 松山空港から空港リムジンバスで「松山市駅」まで約25分
 【徒歩】伊予鉄道「松山市駅」より南へ約800m (徒歩約15分)



メッセージ

○院長



院長
中西 徳彦
(岡山大学卒)

当院は愛媛県の基幹病院として毎年20名あまりの初期研修医を受け入れています。多くの大学出身の研修医が来られており、和気あいあいとした雰囲気の中、切磋琢磨しています。初期研修の2年間は、医師としてではなく、社会人としての第一歩です。患者さんにかかわるとともに、多くの職員のたちと共同でチーム医療にあたるという意識を持ってもらいます。症例は豊富でバラエティに富んでおり、アカデミックな野戦病院です。初期研修の2年間の間に自分の経験した症例を学会発表、さらには論文発表してもらっています。ぜひ、当院に飛び込んでみてください。

○指導医・プログラム責任者



臨床研修センター長
名和 由一郎
(鳥根医科大学卒)

当院は中四国最大の自治体病院で、県下の拠点病院として3次救急、災害、周産母子、がん医療などの重要な役割を果たしています。内科系はもちろん、外科系も最新の手術支援ロボットを2台所有し、手術症例数も中四国でトップクラスです。また、初期研修終了後の専門医研修プログラムも多くあり、進路選択もしやすくなっています。指導医資格を持った医師の割合も多く、「ジェネラルマインド」を持ち合わせ、自ら考え、動ける「研修医を育成しております。また、バランスの取れた医師となるように、選択科では院外の中小規模の研修を積極的に動めています。当院のプログラムで、充実した臨床研修を経験し、将来の医師としての力を身につけましょう。

● プログラムの目的・特徴

目的

当院のプログラムの目的は、地域の医療に貢献することができるジェネラリストやジェネラルマインドを持った専門医を育成することです。臨床的スキルや知識を取得することで基本的診療能力を身につけ、チーム医療を学ぶことで患者中心の医療を実践し、プロフェッショナリズム、臨床倫理、医療安全を学び、医師としての人格を涵養することも目的としています。

特徴

当院は「県民の最後の砦」として3次救命救急(ドクターヘリ)研修を提供し、総診外来や日々のかかりつけ患者対応(宿日直:1次)研修など、幅広くバランスの取れたプライマリ(ファーストタッチ)研修ができます。各科ローテーション(必須・選択)研修とともに、毎週行われる研修医勉強会を通じてプライマリケアの標準的・基本的能力(知識、態度、技術)を堅実かつ有効に習得することができます。また、ネイティブの指導による英語プレゼンテーション研修や院外外部講師によるレクチャー(年数回予定)も行われ、幅広く知識や手法、プロフェッショナリズムを学ぶことができます。当院の特徴は、県立新居浜、同今治、同宇和の3つの県立病院と密に連携しており、地域研修、選択科研修で1-2か月研修を行うことが可能です。大病院では経験できないコモンな疾患の診療や地域の救急対応、手法、検査を多数経験できます。また、基幹型専門医プログラムも大学以外では一番多く、将来を見据えながら研修することもできます。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
	内科(総合診療科)			内科			救急科			麻酔科			外科			精神科			小児科			産婦人科	
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
	地域医療			一般外来			選択科																

内科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、放射線科など*

必修分野

内科	24週以上	地域医療	4週以上 ^{※2}
救急	12週以上	精神科	4週以上 ^{※3}
外科	4週以上	一般外来	4週以上 ^{※4}
小児科	4週以上		
産婦人科	4週以上		

その他の分野及び選択研修など

- ※1 選択研修は「県立今治病院」「県立新居浜病院」「沖繩県立中部病院」「松山リハビリテーション病院」「ひねのクリニック」「松山医師会健診センター」で2週間~4週間、「徳島県立中央病院」「香川県立中央病院」「高知医療センター」で1週間の研修が可能
- ※2 地域医療「県立南宇和病院」「西予市立野村病院」「おおぞら病院」「渡辺病院」「鷹の子病院」「松山ベテラル病院」「瀬戸診療所」「西予市民病院」の6施設から選択し、4週間履修する。
- ※3 精神科は「愛媛大学医学部附属病院」で4週間実施する。
- ※4 一般外来研修は1年次の内科(総合診療科)及び2年次の一般外来研修で実施する。

● 募集要項

- 【予定人数】22名
- 【応募締切】令和5年7月28日(金) 必着
- 【選考試験】令和5年8月11日(金/祝) 8月23日(水) いずれか筆記試験、面接試験(マッチングに参加)
- 【応募書類】①履歴書(当該指定様式はホームページからダウンロード) ②卒業(見込)証明書
- 【研修手当】1年次:約428万円/年 2年次:約492万円/年
 ※賞与・手当別
 時間外手当:あり 宿日直手当:21,000円/回
 通勤手当:通勤距離に応じて支給
 住宅手当:敷地内医師会館あり
- 【学会等】旅費支給あり

- 【宿舎】医師会館 単身用ワンルームマンション型:1K 33平方メートル
 世帯用マンション型:2LDK 68平方メートル
 職員宿舎 単身用ワンルームマンション型:1K 24平方メートル
- 【院内保育所】あり
- 【休暇】土曜・日曜・祝祭日
 夏季休暇5日、年末年始休暇(12/29~1/3)あり
 有給休暇20日
- 【保険】1年次:地方公務員共済組合短期、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険
 2年次:地方公務員共済組合、地方公務員災害補償基金
- 【その他】選択(必修)科目で院外実施の地域医療研修については宿舎確保その間、別途研修旅費(交通費・宿泊費・日当)の支給あり
 航空手当(2年次にドクターヘリに搭乗し診療等に従事した場合)その他、特殊勤務手当の支給あり

○研修医



2年次
岡部 珠里
(愛媛大学卒)

当院は症例数が多く、様々な先生方から手厚く指導いただきながら研修できます。研修医向けの勉強会が多く、自習では足りない分を補い、学んだことを共有し切磋琢磨しあえる環境が整っています。当直ではかかりつけ患者さん等の対応を通して初期対応を経験できるほか、3次救急の研修もあるため、幅広く救急対応を学べます。同期は約20名で、愛媛県外の大学出身の研修医も多く、皆仲良く研修しています。当院での研修に少しでも興味を持ってくださいましたら、是非一度見学にいらしてください。



研修医勉強会
毎週金曜日に勉強会を行っています。